第39回社会人野球日本選手権大会

準々決勝

2013/11/5　京セラドーム

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	計
東京ガス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
パナソニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

東京ガス

9			打	安	点	振	球
9		建部	5	1	0	1	0
8		濱（政）田	4	2	0	1	0
6		遠藤	3	1	0	1	0
D		地引	3	1	0	1	2
3		黒田	4	1	1	0	1
8		坂井	3	0	0	2	0
4		岡澤	1	0	0	1	0
H		徳良	1	1	1	0	0
R	4	小林	0	0	0	0	0
2		山内	5	1	0	3	0
5		濱（晃）田	4	0	0	1	0
H		佐々木	1	0	0	1	0
5		植山	0	0	0	0	0
4		藤井	2	0	0	1	0
H	7	柴山	2	0	0	1	0
8		水島	0	0	0	0	0
		計	38	8	2	14	3

パナソニック

			打	安	点	振	球
		計	0	0	0	0	0

東京ガス		パナソニック
石川、○吉原	投　手	●秋吉、田中（篤）
	捕　手	
	本塁打	
	三塁打	
地引、濱田（政）、徳良	二塁打	

投手成績

	回	打者	安	振	球	点	責
石川	7	22	2	10	0	0	0
吉原	4	15	1	1	2	0	0

【特記事項】

投手成績

	回	打者	安	振	球	点	責

準々決勝の先発はエース石川。その石川は初回から多彩な変化球と１４０キロ後半のストレートで三振の山を築く。先制点が欲しい打線だが、チャンスを作るものの一本が出ず、０－０のまま五回終える。両エースの投げ合いは六回以降も続くが、八回、石川から左腕の吉原へスイッチ。その吉原も変化球を低目に集め、２イニングを無失点に抑え、打線の援護を待つ。しかし、九回で決着がつかず、延長戦へ。そして１１回表ＴＧの攻撃、先頭の２番濱田（政）がレフトオーバーの二塁打を放つと３番遠藤が送りバント、４番の地引が四球を選び、一死一、三塁。ここで５番黒田。その黒田は初球をレフト前に弾き、１－０とする。さらには代打徳良が２ボール２ストライクと追い込まれながらもライト線二塁打を放ち、２－０と差を広げる。１１回裏、吉原はピンチを招くも後続を断ち切り、２－０と接線をモノにした。